

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送り

/5

四 構成

/6

五 部首

/6

六 対義

/6

七 同音

/7

八 誤字

/7

九 四字

/6

十 書取

/12

合計

/71

合格のめやす
50問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① ストローが詰まる。

② 次はわたしのばんだ。

③ 岐阜市にすんでいる。

④ 佐賀県は九州にある。

⑤ 手をきれいに洗う。

⑥ 秋になると木のはが赤くなる。

⑦ 第三回のなわとび大会がある。

⑧ まどガラスに水滴がついた。

⑨ うんどうに適するしたふく。

⑩ 天皇が出せきする。

⑪ 政党の名前をおぼえる。

⑫ 雨の日が続く。

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 構

画

② 透

画

③ 難

画

④ 白

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① 野原で花をつむ。

② 音楽がすきだ。

③ 季節がめぐる。

④ 夕やけの空がうつくしい。

⑤ 夏は日が長く、冬は日がみじかい。

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「くを」「くに」にあたるもの(れい 読書)

① 利害

--

② 閉会

--

③ 避雷

--

④ 巨木

--

⑤ 貯金

--

⑥ 早朝

--

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)休
やす
む

ま

(しんによ)

①

むか
える

②

に
げる

イ

(にんべん)

③

し
事

④

じゅう
所

小

(りっしんべん)

⑤

いそが
しい

⑥

こわ
い

六

反対の意味の「こ」を、「」から
えらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「くらい もくどく とくてん だったい みぎ
ていこう」

①

明るい ⇄

②

失点 ⇄

③

音読 ⇄

④

加入 ⇄

⑤

服従 ⇄

⑥

左 ⇄

--	--

七

次の——線のカタカナを、漢字で書きましょう。

① ふしぎなごエンで二人は出会った。

② エン筆でノートに絵をかく。

③ ハンカチでアセをふいて休む。

④ 夏はセン風機をつけてすごす。

⑤ 答えがまちがってチガう。

⑥ 図カンで虫の名前をしらべる。

⑦ ソク座に返事をして帰る。

八

次の文には、同じ読みの方まちがった漢字が一字あります。誤字と正しい漢字を、右と左の□に書きましょう。

① 大型の台風が習来するそうだ。

誤	
正	

② 肉の指肪を取りのぞいて調理する。

誤	
正	

③ 毎朝六時に起消する。

誤	
正	

④ 長い間、苦悩した末に進学先を決めた。

誤	
正	

⑤ 夜十時に就信するように心がけている。

誤	
正	

⑥ 犬を重医さんにみてもらった。

誤	
正	

⑦ 他人の権利を進害してはいけない。

誤	
正	

九

意味を読んで、□に入る漢字を書き、四字熟語を完成させましょう。

① 衆人

□ 視

おおぜいの人がまわりをとりかこんで見ていること。

② 真

□ 勝負

ほんものの刃でたたかうように、ひっしでぶつかる。

③ 子孫

□ 栄

子やまごがつぎつぎにふえて、さかえること。

④ 率先垂

□

人の手本として、まっ先にやってみせること。

⑤ 電光石

□

いなずまのように、ひじょうにすばやいこと。

⑥ 質

□ 応答

しつもんを出す人と、それに答える人のやりとり。

＋——線のことばを、漢字で書きましょう。

① じたくに帰る。

□ □

② この町はぐんにぞくしている。

□ □

③ ちやいろの犬が休んでいる。

□ □

④ 九時にしあいをかいしする。

□ □

⑤ ごうかいな笑い声が校庭にひびく。

□ □

⑥ 午後から空がくもるでしょう。

□ □

⑦ じゅきゅうのバランスを考える。

□ □

⑧ おじいちゃんがしんぶんをよんでいる。

□ □

⑨ きょうだいでこうえんへいく。

□ □

⑩ きめた目ひょうをじっこうする。

□ □

⑪ わたしはいちねんせいです。

□ □ □ □

⑫ うわさをひていする。

□ □

